

# カリフォルニアエネルギー委員会 火力発電所の認証

カリフォルニア州エネルギー委員会は、カリフォルニア州のすべてのプロジェクト関連施設を含め、火力発電所の認定およびコンプライアンスを50MW以上としています。当局の管轄は公的および私有の土地を対象としています。

認証手続きを通じて、エネルギー委員会は、発電所や関連施設が安全で環境に配慮したものであるかどうかを迅速かつ的確に審査することを保証します。

## 発電所への影響の評価

カリフォルニア州で50MW以上の新しい火力発電所を開発するには、デベロッパーには適用されるすべての法律、条例、規則、および基準（LORS）を用いてプロジェクトの提案、既存の設定、予想される環境への影響、これらの影響を排除または最小限に抑えるための措置、およびコンプライアンスについて記述する認証申請書（AFC）の提出が求められます。

一旦受領されると、エネルギー委員会は1年間の透明な認証プロセスを開始します。最初のステップは、エネルギー委員会が、AFCを見直すために十分な情報が提出されたという決定です。その後、エネルギー委員会は、レビューと評価の手続きを監督する2人の委員からなる委員会を任命します。

次のステップは、情報委員会のスタッフがAFCをさらに明確にするためにプロジェクト開発者にデータ要求を発行する際の情報発見フェーズです。これらの要求と開発者の反応について議論するた

めに、公のワークショップが開催されます。この段階では、プロセス中に発生した問題についてコンセンサスに達するという目標を掲げて懸念を表明することができます。

エネルギー・コミッショナーによるサイト訪問が行われ、公的機関の公聴会も開催され、プロジェクトに関する当局の決定をより良く伝えます。

分析を完了した後、エネルギー委員会スタッフは予備的なスタッフ評価を発表します。パブリックコメントが求められ、回答は最終的なスタッフ評価に含まれ、その後に調査結果の証拠が表示されます。

分析を完了した後、エネルギー委員会スタッフは予備的なスタッフ評価を発表します。パブリックコメントが求められ、回答は最終的なスタッフ評価に含まれ、その後に調査結果の証拠が表示されます。

分析と証拠審理に基づいて、執行長官はプロジェクトの決定を提案します。パブリックコメント期間の後、修正された提案された決定が委員会ビジネス会議での最終投票のために完全エネルギー委員会に提示されます。

## 調整と合理化

エネルギー委員会のプロジェクト認証プロセスは、50MW以上の火力発電所プロジェクトに一般的に必要なとされる地方および州の許可に取って代わるものです。このプロセスでは、エネルギー委

員会の認証プロセスに組み込むことができるように、地域、州、および連邦政府機関の環境許可プロセスと意思決定をまとめ、組み込むことが必要です。

プロジェクト開発者がエネルギー委員会の認定を受けて追加の承認を得る必要がある場合があります。これは最終的な設計に依存し、例えば道路侵害許可証と連邦政府の重大な劣化予防防止証書を含めることができます。

#### 参加

認証プロセスを通じて、エネルギー委員会スタッフは独立した団体として行動します。スタッフの役割は、職員、プロジェクト申請者、介入者、および他の参加者からの勧告と証言を考慮して、割り当てられたプロジェクト委員会に包括的な専門家の分析と勧告を提供することです。

これらの参加者には、エネルギー委員会のパブリック・アドバイザー、個人および地域社会団体、プロジェクトの全面的な関与または役割を担う地方、地域、州、および連邦政府機関を代表する代理店スタッフが含まれます。

参加者は、すべてのプロジェクト提出書類を受け取るための関係者に嘆願し、証言を提示し、証人を十字審査する機会を得ることができます。参加者には、通常、個人、近隣およびコミュニティグループ、地方公共団体、環境保護および再生可能エネルギー資源の公益擁護団体、プロジェクト申請者の競合他社、およびプロジェクトの建設に携わる組織労働者を代表する団体が含まれます。

#### 認定の準拠

認可された発電所は、建設計画の見直し、環境への影響の最小化計画、およびプロジェクトの存続

期間の認定条件の実施を含むエネルギー委員会のコンプライアンスプロセスの対象となります。

建設中、エネルギー委員会の最高責任者は、施設がカリフォルニア建築基準とエネルギー委員会の決定に従っているかどうかを監視します。エネルギー委員会は、カリフォルニアの人々と天然資源を保護するために、その場所と構造を監視します。

発電所が稼動すると、エネルギー委員会は、地方、州、および連邦政府のLORSとの各条件および適合に準拠しているか、プロジェクトを監視し続けます。

エネルギー委員会はまた、発電所の閉鎖活動と敷地の修復を監督しています。プロジェクトの所有者がエネルギー委員会の最終決定に対する修正申請を求めた場合、エネルギー委員会は公開プロセスにおける提案された変更を分析することが求められます。一般市民は、事業が適用されるLORSに適合していることを確認するために、プロジェクトの存続期間中に苦情を提起したり、発電所の調査を依頼することができます。苦情や捜査は一般に認められています。

エネルギー委員会の火力発電所認証およびコンプライアンスプロセスは、プロジェクトがオープンプロセスでレビューされ、環境への影響が軽減され、緩和され、プロジェクトが適切なLORSに適合するようにします。これらのプロセスは、すべてのカリフォルニア州民の電気への信頼性を維持しながら、カリフォルニアの自然資源とコミュニティを保護します。

**Edmund G. Brown Jr.**  
Governor

**Robert B. Weisenmiller, Ph.D**  
Chair

**Drew Bohan**  
Executive Director

Commissioners  
**Karen Douglas, J.D.**  
**David Hochschild**  
**J. Andrew McAllister, Ph.D.**  
**Janea A. Scott, J.D.**



**CALIFORNIA**  
**ENERGY COMMISSION**

[energy.ca.gov](http://energy.ca.gov) | [facebook.com/CAEnergy](https://facebook.com/CAEnergy) | [twitter.com/calenergy](https://twitter.com/calenergy)